

2. アクティブ・ラーニングアンケートの結果報告

依頼文

授業担当教員各位

アクティブ・ラーニングプロジェクト代表

野 田 敦 敬
伊 東 正 人

アクティブ・ラーニングの授業アンケート調査について（お願い）

第3期中期目標・中期計画における本学の重点目標の一つは、大学教育を通じてアクティブ・ラーニング（以下、AL）の学びを積んだ学生が、学校現場で能動的学修方法を展開できるように養成することである。そのための体制を全学的に取り組むために、ALを取り入れた授業を学部課程、大学院課程とともに全開講授業の6割以上で導入することを目標としています。

「主体的・協働的な学び」を実践できる教員の養成であるアクティブ・ラーニングプロジェクトは、ALを導入した新しい学習指導方法を開発し、学校現場でALを実践できる教員を養成することを目標としています。

本プロジェクトでは、2012年に文部科学省が定義したALや先進校の事例を参考にしながら、教員養成大学としてのALについて検討してきました。そこで、本学ならではの4つの視点から目指すALを考え、平成29年3月29日開催のFD集会で『本学が4つの視点から目指すAL』として提案し、参加者からの意見等を集約しました。

本プロジェクトは、本学が目指すALを含んだ**平成30年度開講授業**の開講数と実施教員数の現状調査するために簡単なアンケートを実施することになりました。アンケート調査の結果から、本学でのAL授業の現状、ALを導入する上での課題を整理し、本プロジェクト遂行に向けた材料としたい。

つきましては、アンケートについては[アンケート用紙を各所属学系事務室に提出](#)もしくは[学務ネットで回答](#)して下さい。急なお願いですが、ご協力のほどよろしくお願いします。

【アンケート調査主体】 アクティブ・ラーニングプロジェクト

【アンケート提出期限】 2019年2月28日(木)

【アンケート対象者】平成30年度に愛知教育大学で授業を担当している全教員(非常勤講師を含む)

【アンケート調査の回答方法】

アンケート対象者に依頼文と共にアンケート調査の紙媒体を授業担当教員に送付する。

アンケートは次のいずれかの方法で回答してください。

1) 紙媒体の場合は、所属の学系事務に提出する。

2) Web の場合は、学務ネットにログインし、「アンケート回答」から回答する。

注) 一時保存の機能はございません。また一度回答いただきますと修正はできません。

【本件に関する照会先】

(アンケート内容) 理科講座 伊東正人 内線 2621

(事務的内容) 企画課 花井咲絵 中村彩乃 内線 2717

アクティブ・ラーニングについての授業アンケート調査

所 属 _____

氏 名 _____

※
《事務記入欄》

注
意
事
項

○を塗りつぶすときは、**○枠をきちんとマーク**して下さい。

※黒色のえんぴつ、または黒色ボールペン、黒色サインペン
でご回答ください。本回答用紙は、**機械で読み取ります**。
丁寧に記入ください。

《マークの仕方》

(良い例)

(悪い例)

チェック

はみでる

うすい

下記の『本学が4つの視点から目指すアクティブ・ラーニング』をお読み頂き、アンケートに回答をお願いします。また、授業科目については、**平成30年度に開講したすべての担当授業**を対象とします。

【本学が4つの視点から目指すアクティブ・ラーニング（以下、AL）】

＜主体的な学びの視点＞

授業内容等から学修者自らが課題を発見し、その課題の解決に向けて、問題解決型学習、体験学習、調査学習等を行うことで、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力が育成されている。

＜対話的な学びの視点＞

学修課題及び修得した教養、収集したデータ、体験等について、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等を行うことで、より個人の学びが深まっている。

＜深い学びの視点＞

単に断片的な知識や技能等を修得するのではなく、主体的及び対話的な学びの過程で、学修者の思考が活性化されることで、知識や技能等の関連が図られ、新たな概念化することができている。

＜教員及び教育を支援する専門職の養成としての視点＞

学修者がALの価値を実感することで、教員及び教育支援専門職に就いたときに、自らに児童・生徒に主体的で対話的な深い学びを実践できるようになっている。

問1 担当している全科目（学部と大学院）に、上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むALの授業はありますか？○を塗りつぶしてください。

○ ある

○ ない

「ある」と回答された方のみ、以下にお答えください

問2 担当している全科目（学部と大学院）の中で、上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業科目はいくつありますか？

担当する学部授業全科目で コマのうち コマある

担当する大学院授業全科目で コマのうち コマある

問3 同一科目の全授業回数（16回）の内、上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の平均回数はどの程度ですか？（科目により回数が異なる場合、最大の平均回数を回答して下さい）

○ 1、2回

○ 3～8回

○ 9回以上

問4 上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、取り入れている授業形態があれば教えてください。（複数回答可）

- ☐ 学生参加型授業（クリッカー、感想・質問カードの使用など）
- ☐ 学生の共同授業（グループワーク、グループディスカッションなど）
- ☐ 教員や学生が問題設定をし解決する（問題発見・解決型学習など）
- ☐ 野外実習、体験実習、調査学習など
- ☐ その他（以下に記入）

問5 上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、デジタル機材を使用した授業形態があれば教えてください。（複数回答可）

- ☐ 電子黒板やデジタル教科書を用いた模擬授業
- ☐ e-learning システムを活用した授業
- ☐ ICT機器の効果的活用をした授業
- ☐ その他（以下に記入）

アンケートのご協力ありがとうございました。（各学系事務室に提出をお願いします）

アンケート回収率

	教育科学系		人文社会科学系		自然科学系		創造科学系		計
選択肢	教員	非常勤	教員	非常勤	教員	非常勤	教員	非常勤	
配布枚数	77	43	40	61	52	15	45	46	379
回収枚数	60	39	29	35	44	15	37	27	288
%	82.5%		63.4%		88.1%		70.3%		76.0%

アンケート結果

アクティブ・ラーニングについてのアンケート集計表

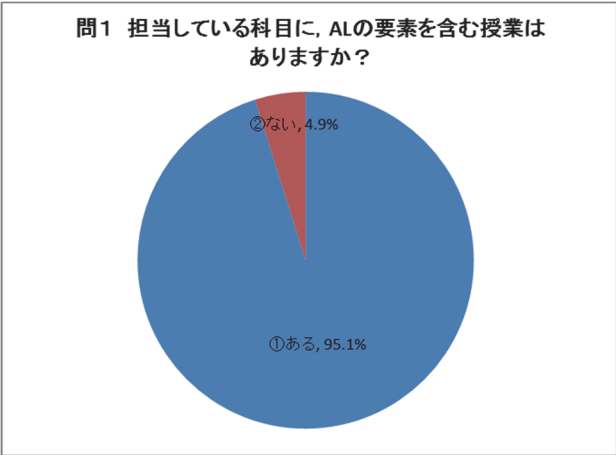
平成31年 3月実施分

科目名称: 全学系

回答数: 288

問1	担当している全科目(学部と大学院)に、4つの視点のうち少なくとも1つを含むALの授業はありますか？	選択肢	①ある	②ない			
		%	95.1%	4.9%			
		回答数	274	14			
「ある」と回答された方							
問2	担当している全科目(学部と大学院)の中で、4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業科目はいくつありますか？	選択肢	①学部AL導入	②大学院AL導入			
		%	71.2%	78.5%			
		回答数	1510.6/2123.1	388/494			
問3	同一科目の全授業回数(16回)の内、4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の平均回数はどの程度ですか？	選択肢	①1.2回	②3～8回	③9回以上		
		%	8.0%	45.6%	46.4%		
		回答数	22	125	127		
問4	4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、取り入れている授業形態を教えてください。(複数回答可)	選択肢	①学生参加型授業	②学生の共同授業	③教員や学生が問題設定をし解決する	④野外実習、体験実習、調査学習	⑤その他
		回答数	152	214	150	94	10
問5	4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、デジタル機材を使用した授業形態を教えてください。(複数回答可)	選択肢	①電子黒板やデジタル教科書を用いた模擬授業	②e-learningシステムを活用した授業	③ICT機器の効果的活用をした授業	④その他	⑤無回答
		回答数	12	16	96	14	154

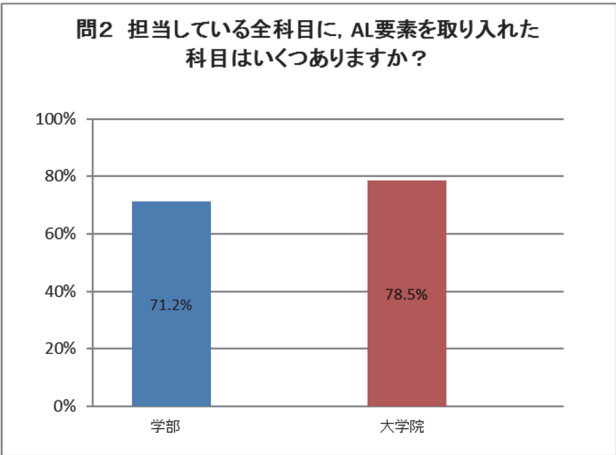
問 1 担当している全科目(学部と大学院)に、上記 4 つの視点のうち少なくとも 1 つを含む AL の授業はありますか？



選択肢	%	回答数
①ある	95.1%	274
②ない	4.9%	14

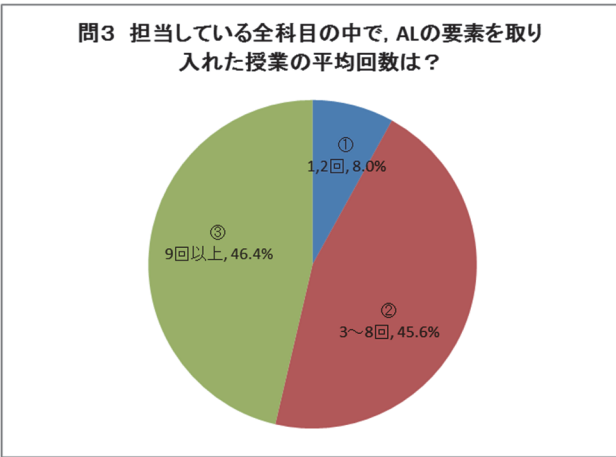
問 1 で、「ある」と回答された方

問 2 担当している全科目(学部と大学院)の中で、上記 4 つの視点のうち少なくとも 1 つを含む AL 授業科目はいくつありますか？



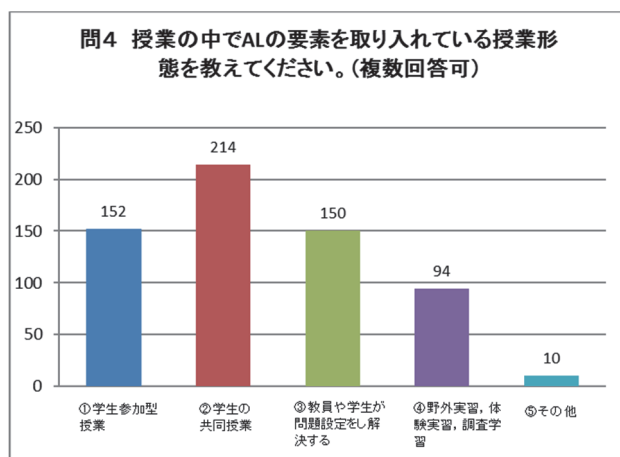
選択肢	%	回答数
①学部 AL 導入	71.2%	1510.6/2123.1
②大学院 AL 導入	78.5%	388/494

問 3 同一科目の全授業回数(16回)の内、上記 4 つの視点のうち少なくとも 1 つを含む AL 授業の平均回数はどの程度ですか？



選択肢	%	回答数
①1, 2 回	8.0%	22
②3~8 回	45.6%	125
③9 回以上	46.4%	127

問4 上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、取り入れている授業形態があれば教えてください。（複数回答可）

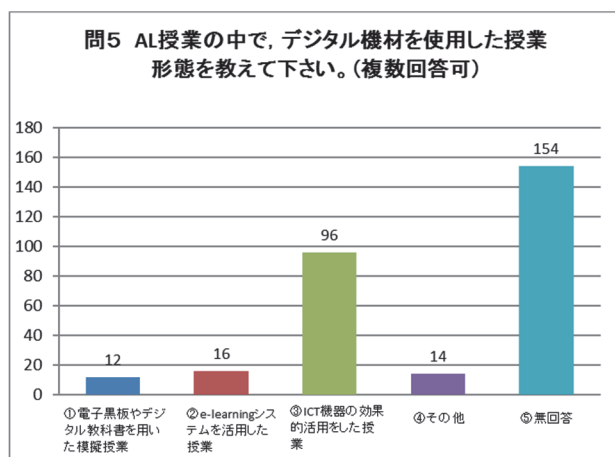


選択肢	回答数
①学生参加型授業	152
②学生の共同授業	214
③教員や学生が問題設定をし解決する	150
④野外実習, 体験実習, 調査学習	94
⑤その他	10

⑤その他

- ・授業作りを含めた授業研究の実践（指導案、教材・教具の作成、授業実践、検討会、報告書の作成）
- ・次年度以降、その他の授業についても漸次ALを導入しようと考えている。（自由記述です）
- ・個人の実技レッスン授業は、全てアクティブラーニングと言える。
- ・体験型の学習
- ・ペア・ワーク
- ・ドイツ語の授業で、ペアワークなどを取り入れている
- ・小・中学校現場にて児童・生徒と協働し学ぶ
- ・実際の教育現場を想定し、VTRを使用し「校内授業研究会」を実施(何パターンかの)
- ・全学1クラス120名が対象でも、グループ分けして、ディスカッション、クイズ形式等にして学生の授業への参加を促している。
- ・授業の中心時間を、図書館内ラーニングコモン（2F）で、個々の課題に沿ったワークシートを学生2、3人で共同しながら行う学習にあてることがある（4授業時間）。ワークシート記入後の各授業時間の最後15分程度、学生はテーマごとに、図書館内メディアルームと模擬授業室に分かれて集まる。そして、他のメンバーとの交流を行い、報告することになっている。
- ・ピアノ演奏
- ・学生による模擬授業に対して、参加学生全員がコメントを送る。
- ・理科研究の実験実習
- ・模擬授業と模擬授業後のディスカッション
- ・模擬授業
- ・教室に広いスペースを必要とする場合、必要以上に机が多く苦労した。

問5 上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、デジタル機材を使用した授業形態があれば教えてください。（複数回答可）



選択肢	回答数
①電子黒板やデジタル教科書を用いた模擬授業	12
②e-learningシステムを活用した授業	16
③ICT機器の効果的活用をした授業	96
④その他	14
⑤無回答	154

④その他

- ・デジタルCDやカメラを使用したボルボックスの走光性実験と遊泳の解析
- ・パワポによるプレゼン，授業データの事前送信（配信）
- ・紙媒体を配布
- ・C言語による数値計算演習・実験
- ・プレゼンテーションツール（パワーポイントなど）を利用した学生主体の対話的学習・プレゼンテーション（教育研究発表）
- ・パワーポイント，写真，DVDの活用
- ・まなびネットを通じて学生のコメントを毎週集めています。今年度から突然利用できなくなり大変困っています。ALについてのアンケートをしている暇があれば、まずシステム環境を整えて下さいますようお願いします。
- ・パワポだけです。
- ・インターネットの利用
- ・オンラインの書物検索（NPO連想出版「新書マップ」）や、オンライン辞書「コトバンク」の使用を常用している。
- ・パワーポイントを用いた模擬授業。
- ・OHCを使用しています。
- ・パワーポイントで作成した資料をプロジェクターで提示する授業
- ・スマートフォン（iphone）
- ・組み込みマイコン（Raspberry Pi）を用いた温度計ロガーの開発を通した、マイコンの仕組み、Linuxの基礎とプログラムの学習。